

第 17 期第 3 四半期業績のご報告
 (平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

平成 25 年 6 月 吉日
 日本システムバンク株式会社
 代表取締役社長 野坂 信嘉

当第3四半期における時間貸し駐車場業界は、アベノミクスによる景気高揚感の高まりと共に、都市部を中心とした不動産流動化の波を受け、一部の駐車場で解約などの影響を受けました。

このような環境の中、当社では、コスト削減及び専任担当による収益改善策を継続的に実施し、CPシステム運営事業では、売上高 634,784 千円(前期比 102%)の結果となりました。CPシステム販売管理事業では、コンサルティング営業の更なる推進と他社メンテナンス先の獲得に注力致しました。その結果、売上高 530,189 千円(前期比 116%)と大幅に伸長致しました。

プロパティマネジメント事業では、全国物件の集中管理により、維持管理の効率化と満室経営に努め、売上高 72,119 千円(前期比 101%)となりました。

分譲マンション事業では、この冬の異常寒波の影響などにより販売スピードが鈍りましたが、2 棟目となる幸橋グランデの完売とともに現在では、3 棟目となるエリアスも残り僅かとなるなど堅調に推移しております。売上高は 102,564 千円(前期比 39%)となりました。

当四半期に於ける総売上高は 1,339,754 千円(前期比 94%)の結果となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

事業区別	金額	前年比
CPシステム運営事業	634,784 千円	102%
CPシステム販売管理事業	530,189 千円	116%
プロパティマネジメント事業	72,119 千円	101%
分譲マンション事業	102,564 千円	39%
その他	98 千円	9%